

トレーラーの連結および切り離し

1. 連結

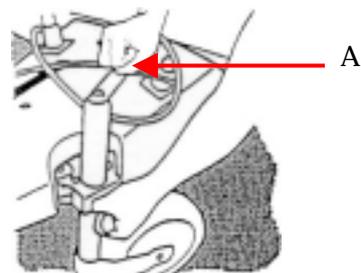
a. 連結方法

- i. ジャックハンドル(A)を回し、トレーラーのヒッチカプラーを連結可能な高さに調整します。

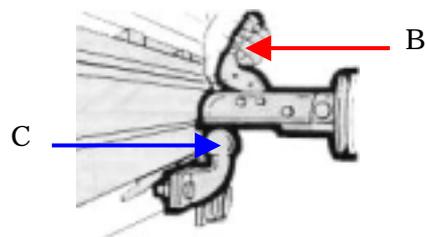


注意

ジョッキホイールの高さを調整する際、ジャックハンドルの回しすぎに注意してください。ジョッキホイールを伸ばしすぎると、内部の機構が破損し、伸縮ができなくなる場合があります。



- ii. カップリングハンドル(B)を持ち上げながらジャックハンドル(A)を回しヒッチカプラーをヒッチポール(C)の上にかぶせ連結します。



- iii. ヒッチカプラー上部のポップアップマーカ(D)のグリーン帯が出ていること、カップリングハンドルが確実にロック状態にあることを確認します。



警告

ロックされていない状態での牽引は大変危険です。必ず確認してください。

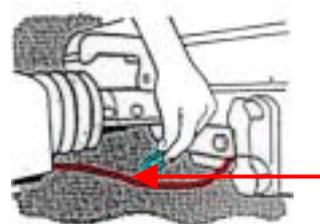


- iv. セーフティーワイヤーを牽引車側に掛けます。



アドバイス

走行中連結部分が外れた場合、サイドブレーキがかかりトレーラーが止まります。

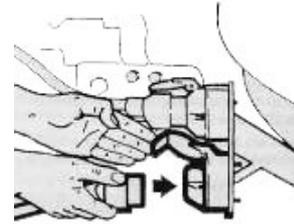


- v. トレーラーの電極カプラーを牽引車に差し込みます。



警告

ロックの確認、ブレーキ、ウィンカー、バック・スモール等の灯火類の点灯状況の確認をしてください。



- vi. ジョッキホイールを取り外し、牽引車またはトレーラーに載せます。



注意

ジョッキホイールは必ず取り外してください。そのまま走行すると車両を破損させる可能性があります。

- vii. サイドブレーキを下ろし、駐車ブレーキを解除します。



アドバイス

- b. 連結状態での全体のバランス

- i. 連結時、牽引車の後サスペンションが極端に沈みこんでいる場合、操安性が悪化している可能性があります。

サスペンションを堅いものに交換することにより、ある程度これを防ぐことができますが、乗り心地などに悪影響を与えることがあります。

- ii. トレーラーを、車軸を中心にして釣り合いがとれている状態、あるいは少し前部が重い状態にすることが、トレーラーおよび牽引車の安全性を得るために重要です。



2. 連結解除

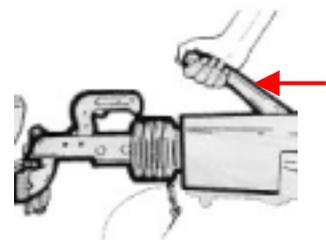
- a. トレーラーをなるべく安定した場所に停めます。

- b. サイドブレーキをかけます。

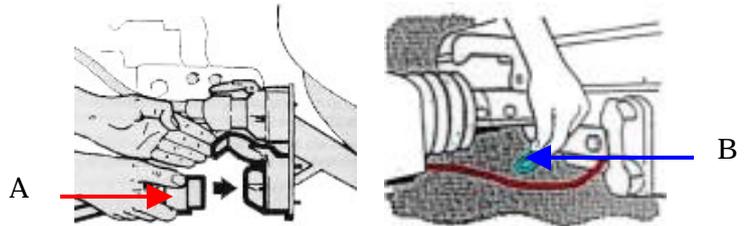


アドバイス

坂道での切り離しの際、タイヤに必ず輪止めをしてください。後方向にブレーキを効かせたい時には必ずブレーキレバーがほぼ垂直になるまで引いてください。また、実際に効くまでに若干後退します。



- c. 電極カブラー(A)、セーフティーワイヤー(B)を牽引車から取り外します。

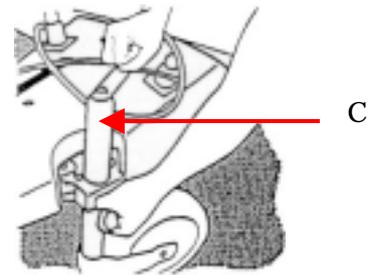


- d. ジョッキホイール(C)を取り付けます。



注意

ジョッキホイールの高さを調整する際、ジャックハンドルの回しすぎに注意してください。ジョッキホイールを伸ばしすぎると、内部の機構が破損し、伸縮ができなくなる場合があります。

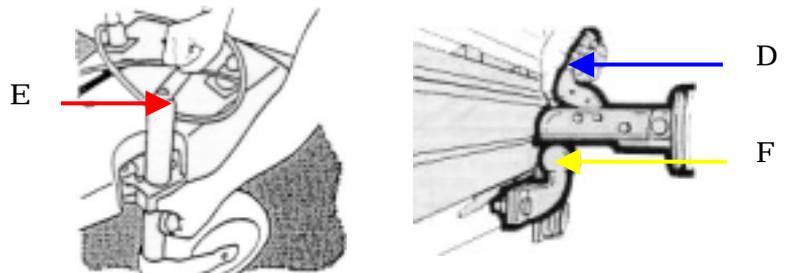


- e. カップリングハンドル(D)を上へ引き上げながらジャックハンドル(E)を回し、ヒッチボール(F)から切り離します。



注意

ジョッキホイールの高さを調整する際、ジャックハンドルの回しすぎに注意してください。ジョッキホイールを伸ばしすぎると、内部の機構が破損し、伸縮ができなくなる場合があります。



- f. 車両四隅のレベリングジャッキを下ろします。



警告

レベリングジャッキは、トレーラーを安定させるためのものです。大幅な車高調整、タイヤ交換には絶対に使用しないでください。

ジャッキを出さないまま乗車すると、トレーラーが傾く恐れがあります。

